



完成した工場を回り、瑞浪市市長(右から入り)と瑞浪市山田町(ハナノキ)

米穀加工の工場完成

市長ら製造ライン視察

瑞浪市山田町の工業団地「瑞浪クリエイン・パーク」に進出した米穀加工食品製造業「ハナノキ」(本社愛知県北名古屋市)の瑞浪工場が完成し、一日に同工場の内覧会が開かれた。

同工場は昨年十一月から着工し、敷地面積は約五千五百六十平方メートル、延べ床面積は約千八百四十平方メートル、総工事費は約三億円。製造ラインに残留

する米の導入を防ぐ「コンタミネーション対応精米機」を東海地区で初めて導入した。三日から稼働し、一日二十トンの精米・無洗米を製造する見込

み。内覧会には、高嶋芳男市長や取引先の関係者ら約二百人が訪れ、工場内の精米機械や会議室などを見て回った。池山雄次会長は「エアシャワーなど衛生面に気を配り、消費者の基準に合った工場となった。この工場で製造された米を瑞浪ブランドとして売りたい」と話していた。(阿合隆)